

県民の森の平成18年度管理状況

施設所管課	観光交流局交流政策課
指定管理者	県民の森地域振興会 会長 空 喜代士
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容	具体的な業務の実施状況
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、案内等の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接遇向上（接客マナー）の講習会に職員を参加させている。 <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者帰宅時に意見、感想を聞き対応している。 ・利用者からの意見を取り入れ、アイスクリームとジュースの自販機を設置 <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車の貸出を開始
利用の促進に関する業務	<p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原生林探訪（参加人数23人） ・炭焼き教室の開催（参加人数14人） ・昔生活体験（参加人数83人） ・秋の紅葉散策（参加人数22人） <p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット発送及び配布（延3,000部） ・広報誌・新聞（県・市広報誌及びホームページ）に掲載 <p>周辺地域、関係機関との連携・協力の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山中温泉観光協会が企画する「紅葉狩り森林浴ツアー」を受け入れ
使用の許可に関する業務	<p>使用許可、使用料の徴収、納入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用許可の件数（（2）参照） ・使用料の収入実績（（3）参照）
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	<p>清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内（毎日）・各施設全般（使用前・使用后） <p>保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲料水、浄化槽については管理委託し、施設、道路、防火水槽については職員が随時保守管理している。 ・危険な場所への手すりの設置 <p>警備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開園期間中 毎日見回り ・通常は17:15まで管理人が常駐するが、日帰りのお客が遅くなる場合は帰るまで残って対応している。 <p>小規模修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バーベキュー舎屋根雪のため亀裂修繕、便所水周り修繕、屋根雨漏り修理（職員対応）

(その他知事が必要と認める業務)	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・消防の避難訓練の実施 ・傷薬等簡易な薬品を常備 ・ログハウス、管理棟に緊急の連絡先明記 個人情報の管理状況 ・業務仕様書に基づき利用者名簿を保管(事務所の机の中に鍵をかけ保管)
------------------	---

(2) 県民の森の利用状況

入園者・施設利用者数

指標	H17年度	H18年度	前年度比	増減理由
一般入園者数(人)	16,596	19,222	116%	イベント開催及び広報活動徹底により増。
施設利用者数(人)	3,336	3,544	106%	

使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
テントサイト	106,750	0	
貸出テント	20,130	0	
バンガロー宿泊	141,120	0	
バンガロー日帰	3,460	0	
ケビン	482,342	3,668	ウイークデー利用による割引
ログハウス 小	557,358	4,892	〃
ログハウス 大	458,392	3,058	〃
バーベキュー	126,630	1,170	〃
計	1,896,182	12,788	

(4) 収支決算(千円)

収入		支出	
管理料	20,906	人件費	16,702
利用料収入	1,896	光熱水費	824
その他収入	1	修繕費	344
		その他(消耗費、備品購入等)	4,933
合計	22,803	合計	22,803
収支差額	0		

(5) その他、県が必要と認める事項 (管理の実態を把握するために必要な事項)

利用者アンケート結果、評価、苦情、要望

年月	内容	対応
平成 18 年 4 月	園内にある 2 箇所の木橋と道路との取り付け部分が危険との指摘	丸太の柵を設置して安全を確保した。

事故、故障等

年月	内容	対応
平成 18 年 4 月	融雪により進入路の切取法面が一部崩壊 (4 箇所)	自前の重機を使用し除去し対応した。
平成 18 年 7 月	豪雨により園内の水源の谷が崩壊	消防水利施設の水を供給して対応した。

その他報告事項など

--

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上に向けた取組みが行われているか。	B	・ 接遇向上の講習会の参加やアイス販売、ジュースの自販機の設置、自転車の貸し出しを行うなどサービス向上に向けた取組みがなされている。
利用促進に向けた取組みが行われているか。	A	・ 自主事業イベント(昔生活体験など)の開催や山中温泉観光協会との連携、保育所などに遠足利用を働きかけるなど誘客活動を行い、入園者を増加させた。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	・ 小規模災害の早期復旧や、修繕を自ら行うなど、良好な利用環境を維持するために積極的な管理を実施した。
緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	B	・ 非常時の連絡体制や定められ、消防訓練するなど安全対策が適切に行われている。
適切な管理運営を行う組織・体制か。	B	・ 管理事務所長ほか施設管理責任者等を配置するなど適切な職員の配置がなされている。
その他、必要と認める事項(例:苦情処理、個人情報保護)	B	・ 木橋と道路との取付部分が危険との指摘に対して早急に対応するなど仕様書に基づき適切に行われている。
総合評価	B	・ 施設の設置目的にあった管理運営がなされている。今後もイベント等の充実による誘客に期待する。

評価基準

- A(優): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を上回っている
- B(良): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C(可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D(不可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A(優): 適正であり、優れた実績をあげている
- B(良): 適正である
- C(可): 概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D(不可): 改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

--